

事業計画書

1 事業名称	軽度認知障害（MC I）および認知症予防を正しく知るための啓発事業Ⅲ
(1) 事業の目的	<p>区民や地域の人達が、認知症予備軍とも言われている軽度認知障害（MC I）についての正しい理解と、発症の遅延等、将来少しでも認知症にならないようにするための予防知識を身につけ、早い段階で行動を起こすことで、これからも地域で安心して暮らせるよう、啓発と支援活動をおこなう。</p> <p>世田谷区の人口約92万人、うち高齢者人口約19万人（総人口の約20%）、その中で認知症高齢者数は約2万4千人で、将来推計では今後も増える見込みである。また、認知症予備軍である軽度認知障害（MCI）の人も同数存在すると言われている。</p> <p>軽度認知障害（MCI）は「早期の気づき・早期の対応」が大切と言われ、正しい予防や進行抑制プログラムに参加すれば、その半数は認知症に進まなかったり遅らせることが出来、何もしなければ、半数は認知症になるであろうと言われている。</p> <p>このような状況の中、情報や知識を得るため、当NPO法人が近年主催する区民向けのMC I勉強会は人気が高く、区民の認知症予防への関心の高さが伺える。</p> <p>上記の点からも、多くの区民がMC Iの正しい知識を得て、認知症予防につながるよう啓発活動の機会を多くつくる必要性を感じ、本事業をスタートさせた。</p>
2 協働事業の内容及び実施方法 (2) 事業の内容 * 実施体制や実施手法を含めて記入すること。	<p>啓発活動からスタートとした本事業、2年目の昨年度は、啓発から相談、支援と、活動の幅を広げた。本事業3年目となる今年度も、「啓発」「相談」「支援」の3つの柱を立てて活動する。</p> <p>世田谷区の高齢者約19万人とそこご家族、さらに高齢者を支える地域の人達一人でも多くの方に、MC Iと認知症予防の知識を身につけてもらうためには、長期的な視点で繰り返し啓発していく必要があると考える。しかしこの2年間、新型コロナウイルスの影響で、十分な啓発が出来なかった。今年度、改めて啓発の充実を図る。また、予防行動につなげるために、支援にも力を入れていく。</p> <p>具体的には、以下のプログラムを実施する。</p> <p>A．朝田隆医師講演会（2回目開催） 【認知症予防の第一人者である朝田医師（メモリークリニックお茶の水院長）によるMC Iおよび認知症予防の講演会】</p> <p>MC Iの第一人者である朝田隆先生には、一昨年、世田谷区立保健医療福祉総合プラザで講演いただいた。当初200人規模の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、最終的に定員80人、当日参加者67人と大幅に縮小しての開催となった。</p> <p>専門医の話を生活者目線で分かりやすく伝えていただき、更にコロナ禍での認知症予防についてのお話もいただいた前回の講演会は、参加者からも高い評価をいただいた。</p> <p>多くの区民がMC Iに関心を持ち予防知識を身につけてもらうために、今年度改めて朝田隆先生の講演会を計画する。</p> <p>開催方法／開催数：区内会場開催（1回） 参加対象者：区民、区在学、在勤者 参加人数：200名 広報活動：・チラシ配布（区内関連施設、語らいの家関係者など） ・区広報板へのチラシ掲示 ・区報「区のおしらせ せたがや」掲載 ・ホームページ、区公式SNS</p>

		<p>申し込み : せたがやコール活用</p> <p>B . 軽度認知障害 (M C I) 勉強会 (3 年目継続開催) [M C I の基礎知識と認知症予防のために毎日出来ることなど、受講者参加型勉強会]</p> <p>予防知識を日常生活の中に具体的に取り入れ行動してもらうことを目的とした M C I 勉強会を、今年度も引き続き開催する。 今年度は、勉強会参加者への支援の一環で、講話以外に脳トレやストレッチなど、頭と身体を使ったトレーニングを拡充する。</p> <p>講 師 : 浅見大紀 (臨床心理士) 開催方法 / 開催数 : 区内会場開催 (3 回) オンライン配信 (録画配信) (1 回)</p> <p>参加対象者 : 区民 (区在学、在勤者も可能) 参加人数 : 50 名 (1 回あたり) 広報活動 : ・チラシ配布 (区関連施設、語らいの家関係者など) ・区報「区のおしらせ せたがや」掲載 ・ホームページ など</p> <p>申し込み : 電話・ F A X (語らいの家)</p> <p>C . 認知症予備群の人のための相談会 (2 年目継続開催) [もの忘れに不安を感じるようになった本人、および、家族のための相談会]</p> <p>漠然とした不安を抱えながら、そのまま何もせず毎日を送っている人達が、相談会を通して安心した生活を送るきっかけになるよう、今年度も開催する。</p> <p>アドバイザー : 浅見大紀氏 (臨床心理士) 開催方法 / 開催数 : 区内会場開催 (3 回) 少人数グループ相談方式</p> <p>参加対象者 : もの忘れに不安を感じる本人、家族 参加人数 : 10 名 (1 回あたり) 広報活動 : ・チラシ配布 (あんしんすこやかセンター等) ・ M C I 勉強会での案内</p> <p>申し込み : 電話・ F A X (語らいの家)</p> <p>D . 事業者向け研修 (新規開催) [区の介護予防関連の事業者に対し、研修を通して M C I の普及啓発をおこなう]</p> <p>世田谷区では、介護予防・日常生活支援総合事業として、高齢者を対象とした介護予防関連の講座・教室を実施している。認知症予備軍のための相談会でも、支援の一つとして教室や講座を案内している。</p> <p>今年度新たなプログラムとして、実施事業者を対象とした M C I の研修を行う。事業者も M C I の知識を身に着けることで、 M C I の知識を取り入れた質の高い予防プログラムを区民に提供出来るようにする。結果、講座・教室参加者への M C I の普及啓発に繋がると考える。</p> <p>事業者対象とした活動は初めてとなるため、今年度は実験的な実施と位置づけ、実施後の事業者の反応も検証していく。</p> <p>開催方法 : ・事業者連絡会の中で、 M C I についての講義、およびグループワークを実施する。 ・対面形式</p>
--	--	--

[令和4年度提案型協働事業 様式]

		<p>講 師 : 浅見大紀氏 (臨床心理士)</p> <p>参加対象者: 介護予防・日常生活支援総合事業内、「介護予防筋力アップ教室」実施事業者</p> <p>開催回数 : 1回予定</p>	
	(3) 新型コロナウイルス感染拡大防止の影響による事業実施への工夫等	<p>主対象者となる高齢者が参加しやすい点を重視し、会場での開催は今年度もおこなう。会場開催については、昨年度実施した会場開催や当NPO法人が日常行っている介護業務での感染予防策のノウハウを活かし、感染予防策の徹底を行う。</p> <p>具体的には、スタッフの増員、検温や手指消毒、マスク着用、換気の徹底。参加者リストの作成など。</p> <p>会場の収容人数が制限された場合や、当日参加出来ない人も考慮し、「軽度認知障害(MCI)勉強会」については、録画配信も行う予定である。</p>	
	(4) 令和4年度事業完了予定日	令和5年 2月 28日	
3 協働の必要性及び役割分担	(1) 区の担当課	高齢福祉部 介護予防・地域支援課	
	(2) 協働する意義・必要性	<p>本事業は、軽度認知障害 (MCI) について区民が正しく理解し、早い段階から認知症に備えることで、住み慣れた地域で安心して暮らせることを目的とする、早期対応及び早期支援の取組みである。</p> <p>世田谷区では令和2年10月に「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」が施行された。この条例で世田谷区が取り組む施策の一つとして、「認知症(軽度認知障害を含む。)の早期対応及び早期支援」を掲げている。区と協働し実施することで、軽度認知障害 (MCI) の普及についての強い発信力と、長期的な視点での働きかけが可能になると期待できる。</p> <p>また、もの忘れに不安を持つ人達が早い段階で行動を起こせるよう、支援の取組みをおこなうためには、区の豊富なサービスや資源の活用が不可欠と考える。</p> <p>例えば、相談会参加者に対して各々のニーズに沿った支援を行うために、区が主催する介護予防関連の各種講座や特色豊かな通いの場へ、円滑につなぐことができる。</p> <p>更に予定しているMCI勉強会の録画配信については、YouTube 世田谷区公式チャンネルでの配信が可能になれば、会場参加出来ない人や若年層の家族世代を含めた幅広い方々への普及が可能となる。</p> <p>最後に、今年度初めて実施する事業者研修で、事業者への普及啓発が可能になれば、講座や教室を介して更に多くの区民に軽度認知障害 (MCI) が普及されると考える。</p> <p>以上の理由から、本事業は区と協働して実施する意義があると考えます。</p>	
	(3) 役割分担	提案団体	<ul style="list-style-type: none"> 各プログラム企画立案、スケジュール管理 講師 (アドバイザー) 依頼、コーディネート チラシ、参加者配布物の作成 参加者募集のための広報活動・参加者の確保 開催当日の会場運営 (講演会・勉強会・相談会) 録画配信のための作業
		区担当課	<ul style="list-style-type: none"> 各プログラムに対する全体アドバイス、活動調整 事業者向け研修 (プログラムコーディネート・開催当日の運営) 相談会参加者の参加後の支援 (介護予防に関する各種講座や通いの場へのつなぎ等) 参加者募集のための広報活動・参加者の確保 会場の確保 録画配信のための作業 (YouTube 世田谷区公式チャンネル)
	(4) 地域の団体との連携	世田谷グループホーム連絡会、世田谷区介護サービスネットワーク	

4 協働の成果・効果	(1)期待される具体的な成果や区民・地域への波及効果及びその測定方法	(団 体) ■成果・効果・波及効果 軽度認知障害 (MCI) は認知症と比較すると認知度が低く、知識や情報を得る場が少ない。正しい知識や情報を得る機会を多く作ることで、物忘れに不安を感じた人が、早期に適切な行動をとるきっかけが出来ると思われる。 さらに、認知症になることに漠然と不安を抱えている人達が、正しい知識や予防策を身に着け実践したり、相談の場を設け支援につなげることで、安心・安定した生活が送れる手助けになると考える。 また「親と情報を共有したい」「親が積極的に行動できるよう働きかけたい」「親の介護に役立てたい」という、子供世代からの声がある中、世代を超え周囲の人へ波及していくことも考えられる。 ■測定方法 各プログラム、会場アンケートを実施する。 アンケート結果を通して、成果を図っていく。
	(2)事業の成果の活用方法、将来の展開	(区担当課) ■成果・波及効果 区では、令和2年10月に「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」を施行し、認知症になってからも住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域づくりを推進しており、そのために取り組む施策の一つとして「認知症（軽度認知障害を含む。）の早期対応及び早期支援」を掲げている。軽度認知障害 (MC I) は、認知症と比較すると認知度が低く、知識や情報を得る場が少ないが、講演会・勉強会を開催し普及啓発することで、区民が軽度認知障害 (MC I) を正しく理解し、早い段階から認知症に備える効果が期待できる。さらに、今年度初めての試みとして、介護予防関連講座実施事業者向けに、軽度認知障害 (MC I) について研修を実施することで、普及の担い手を広げていく効果も見込まれる。 また、認知症を専門とした介護保険事業や家族支援等の様々な活動によって、長年培ってきたノウハウや専門性を持つNPO法人語らいの家と協働することにより、もの忘れについて不安を抱える区民のニーズに沿った内容で実施できることも大きな効果の一つである。 ■測定方法 各プログラム参加者にアンケートを実施し、評価を行う。

[令和4年度提案型協働事業 様式]

<p>5 その他</p> <p>* 提案する事業と関連する団体の特徴・専門性や実績、提案や事業実施に向けたアピールなど。</p>	<p>『その人がその人らしく、いつまでも安心して暮らせる』を理念として、法人設立より、認知症に対する地域への啓発活動を行っている。</p> <p>法人の柱となる認知症を専門とした介護保険事業とともに、認知症家族支援、認知症啓発活動、認知症介護従事者研修等、認知症本人および家族を支え、支える人達を育成する活動を行っている。協働事業により認知症予防分野の活動を充実させることで、区民や地域の人達が認知症とともに安心して暮らせるサポート体制が、今以上に整えられることを期待する。</p>
--	---

※昨年度に提案型協働事業を実施した団体は、次のページもご記入ください。

※昨年度に提案型協働事業を実施した団体のみご記入ください。

<p>6</p>	<p>(1) 昨年度の協働事業の効果・実績</p> <p>※昨年度に提案型協働事業を実施した団体のみ記入すること</p>	<p>担当課と協働したことで、昨年は啓発から相談、更に支援と、活動の幅を広げることが出来た。MC Iや認知症予防の知識を提供するだけではなく、もの忘れに不安を感じる人達が「ではどうしたら良いか？」に応えるために相談会の開催、更に支援と、切れ目無くしっかり向き合うことが出来たのは、担当課との協働のおかげである。</p> <p>勉強会は、高齢者やMC Iおよび認知症当事者に対して周知しやすい方法や、参加しやすい会場開催など、環境を整えた中で開催出来た。分かりやすく日常生活に取り入れやすい内容を、楽しみながら学べたと、参加者から高い評価を頂いた。長期化するコロナ禍における、高齢者の閉じこもりやフレイルを予防する意味でも意義ある開催になった。</p> <p>相談会は、「日常生活は出来ているが物忘れが心配」という人の、不安な気持ちをどうにかしたい思いに応える場として昨年初めて開催し、本人や家族から高い評価を頂いた。また、相談者の状況に応じて支援に繋げることも出来た。</p> <p>上記の点から昨年度も、軽度認知障害 (MC I) に大切な「早期対応」「早期支援」の取組として活動が活かされ、意義の高いものとなった。</p>
<p>昨年度の世田谷区提案型協働事業の効果など</p>	<p>(2) 昨年度の事業内容と比較して、新しい点や工夫した点など</p> <p>※昨年度に提案型協働事業を実施した団体のみ記入すること</p>	<p>今年度は特に「啓発」と「支援」に力を入れていきたいと考え、新規プログラム導入と、一部のプログラムで内容の充実を図った。</p> <p>A . 朝田隆医師講演会 (今年度、再度開催)</p> <p>MC I の普及啓発の促進を図るために、大規模講演会を再度開催する。認知症と比べ認知度が低いMC Iについて多くの区民が関心を持ち、認知してもらうためには、MC I 第一人者の専門医による講演会は開催意義が高く、一昨年に開催した講演会では参加者からも高い評価をいただいた。新型コロナウイルスにおけるイベント開催要件が緩和されたタイミングを計り、再度開催を計画する。</p> <p>B . 軽度認知障害 (MC I) 勉強会 (継続開催 内容の充実化)</p> <p>先の事業の内容でも述べたが、今年度は、勉強会参加者への支援の一環で、講話以外に脳トレやストレッチなど、頭と身体を使ったトレーニングを拡充する</p> <p>D . 事業者向け研修 (新規開催)</p> <p>介護予防関連の講座・教室実施事業者を対象にMC I の研修を実施する。事業者もMC I の知識を身に着けることで、MC I の知識を取り入れた質の高い予防プログラムの提供が可能となる。また、講座・教室を通して更に多くの区民へのMC I 啓発に繋げる。</p> <p>昨年度の協働事業では、今後の活動として地域性を活かした取り組みについてのアドバイスを頂いた。今年度実施するにあたり、地域を限定した活動も検討したが、コロナ禍において高齢者のフレイル化や認知症発症も懸念される中、幅広い高齢者に向けての啓発活動を充実させることが優先と考え、今回の活動計画となった。</p>

[令和4年度提案型協働事業 様式]

<p>(3) 協働事業を継続する理由</p> <p>※昨年度に提案型協働事業を実施した団体のみ記入すること</p>	<p>今後も増える高齢者が抱える問題の一つとして、認知症は避けて通れない。早期発見・早期対応の重要性を考えると、多くの高齢者とその周囲の人々への知識や情報の提供、既にももの忘れに不安を持つ人や家族への支援は重要と考える。</p> <p>区の総人口の約 20%を占める高齢者が地域で安心して暮らすためには、一人でも多くの区民に対して長期的な視点での働きかけが必要と考える。しかし、質の高いプログラムを区民(特に高齢者)に提供していくためには、当法人単独では限界がある。今年度も「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」を制定した区との協働で取り組むことで、当法人単独でおこなうよりも、区民に対してより強い発信力と、区民の声を反映した質の高いプログラム提供の実現が可能となり、高い成果が得られると期待できる。</p> <p>このような背景から、今年度も担当課との協働し事業の継続を希望する。</p>
---	--

事業実施スケジュール

※適宜、罫線を入れるなどして見やすいように作成してください。

時期	内容
	<p>A. 朝田隆医師 講演会</p> <p>講師：朝田 隆（メモリークリニックお茶の水院長）</p> <p>[開催日] 令和4年8月21日（日） [会 場] 成城ホール [開催時間] 10時～11時45分 [スケジュール（予定）] 5月中旬～ 朝田医師との打ち合わせ 6月上旬～・・・・・・ 広報活動準備（チラシ作成等） 7月上旬～・・・・・・ 広報活動（チラシ配布、各媒体による告知活動、 区報（区のおしらせせたがや）掲載、など） 参加者募集 8月上旬～・・・・・・ 配付資料等、開催当日のための準備、最終調整 開催終了後・・・・・・ アンケート集計</p> <p>B. 軽度認知障害（MC I）勉強会</p> <p>講師：浅見大紀（公認心理師／臨床心理士／日本老年精神医学会認定上級専門心理士）</p> <p>◎第1回</p> <p>[開催日] 令和4年9月3日（土） [会 場] 北沢タウンホール 集会室 [開催時間] 10時～12時 [スケジュール（予定）] 7月中旬～・・・・・・ 講師との打ち合わせ 広報活動準備（チラシ作成等） 8月上旬～・・・・・・ 広報活動（チラシ配布、各媒体による告知活動、 区報（区のおしらせせたがや）掲載、など） 参加者募集 動画撮影・オンライン視聴のための準備 8月中旬～・・・・・・ 配付資料等、開催当日のための準備、最終調整 開催終了後・・・・・・ アンケート集計 ・オンライン配信のための作業</p> <p>◎第2回</p> <p>[開催日] 令和4年11月19日（土） [会 場] 梅丘パークホール 集会室 [開催時間] 10時～12時 [スケジュール（予定）] 9月下旬～・・・・・・ 第1回の振り返り・講師との打ち合わせ 広報活動準備（チラシ作成等） 10月上旬～・・・・・・ 広報活動（チラシ配布、各媒体による告知活動、 区報（区のおしらせせたがや）掲載、など）参加者募集、 11月上旬～・・・・・・ 配付資料等、開催当日のための準備、最終調整 開催終了後・・・・・・ アンケート集計</p>

◎第3回

[開催日] 令和5年2月4日(土)もしくは5日(日)(予定)

[会 場] 未定

[開催時間] 未定

[スケジュール(予定)]

12月中旬～・・・・・・第2回の振り返り・講師との打ち合わせ

広報活動準備(チラシ作成等)

1月上旬～・・・・・・広報活動(チラシ配布、各媒体による告知活動、
区報(区のおしらせせたがや)掲載、など)参加者募集、

1月下旬～・・・・・・配付資料等、開催当日のための準備、最終調整

開催終了後・・・・・・アンケート集計

C. 認知症予備軍の人のための相談会

アドバイザー：浅見大紀(公認心理師/臨床心理士/日本老年精神医学会認定上級専門心理士)

◎第1回

[開催日] 令和4年9月17日(土)

[会 場] 成城まちづくりセンター・活動フロア

[開催時間] 10時～12時

[スケジュール(予定)]

8月中旬～・・・・・・アドバイザーとの打ち合わせ、チラシ作成

8月下旬～・・・・・・広報活動(チラシ配布等)参加者募集

9月上旬・・・・・・開催当日のための準備、最終調整

開催終了後・・・・・・アンケート集計

◎第2回

[開催日] 令和4年12月10日(土)(予定)

[会 場] 未定

[開催時間] 未定

[スケジュール(予定)]

11月上旬・・・・・・第1回の振り返り・アドバイザーとの打ち合わせ
チラシ作成

11月中旬～・・・・・・広報活動(チラシ配布等)、参加者募集

11月下旬・・・・・・開催当日のための準備、最終調整

開催後・・・・・・アンケート集計

◎第3回

[開催日] 令和4年2月18日(土)(予定)

[会 場] 未定

[開催時間] 未定

[スケジュール(予定)]

1月上旬・・・・・・第2回の振り返り・アドバイザーとの打ち合わせ
チラシ作成

1月下旬～・・・・・・広報活動(チラシ配布等)、参加者募集

2月上旬・・・・・・開催当日のための準備、最終調整

開催後・・・・・・アンケート集計

D. 事業者向け研修

[開催日] 令和4年8月23日(火)

[会 場] 世田谷区役所 第3庁舎3階 ブライトホール

[開催時間] 18時頃～(予定)

[スケジュール(予定)]

6月～・・・・・・・・対象事業者への周知

7月～・・・・・・・・研修内容、具体的方法の打ち合わせ

8月～・・・・・・・・開催当日のための準備、最終調整

開催後・・・・・・・・アンケート集計

以上

事業収支予算書

【収入】

費目・内容	金額(円)	積算内訳
補助金	500,000	
自己資金	707,358	
合計	1,207,358	

【支出】

費目・内容	金額(円)		積算内訳
	事業予算額	うち補助金申請額	
人件費			
①(A)講演会企画・準備・運営	61,200	0	①企画・準備 @1,000×30h=30,000円(▲30,000円) 当日運営 @1,300×3h×8人=31,200円(▲31,200円)
②(B)勉強会企画・準備・運営	71,100	0	②企画・準備 @1,000×12h×3回=36,000円(▲36,000円) 当日運営 @1,300×3h×3人×3回=35,100円(▲35,100円)
③(B)勉強会チラシの配信作業	36,000	0	③当日撮影 @2,000×3h=6,000円(▲6,000円) 編集作業 @2,000×15h=30,000円(▲30,000円)
④(C)相談会準備・運営	47,400	0	④企画・準備 @1,000×8h×3回=24,000円(▲24,000円) 当日運営 @1,300×3h×2人×3回=23,400円(▲23,400円)
⑤(D)研修会企画・準備・運営	17,800	0	⑤企画・準備 @1,000×10h=10,000円(▲10,000円) 当日運営 @1,300×3h×2人=7,800円(▲7,800円)
⑥A・B・C各印刷物原稿作成	56,000	0	⑥@1,000×8h×7種=56,000円(▲56,000円)
[小計]	289,500	0	
報償費			
①(A)講演会講師料	300,000	300,000	①朝田隆医師謝礼 @300,000×1回=300,000円
②(B)勉強会講師料	150,000	150,000	②浅見大紀氏講師料 @50,000×3回=150,000円
③(C)相談会アドバイザー料	150,000	0	③浅見大紀氏アドバイザー料 @50,000×3回=150,000円(▲150,000)
④(D)研修会講師料	30,000	0	④浅見大紀氏講師料 @30,000×1回=30,000円(▲30,000円)
[小計]	630,000	450,000	
消耗品・備品費			
①(A)(B)(C)(D)配布物・案内状他用紙代	10,053	0	①コピー用紙一箱(10冊)=3,165円(▲3,165円) カーペーパー @574×12冊=6,888円(▲6,888円)
②(A)(B)(C)案内発送用封筒代	11,540	0	②長3封筒代(法人名入り)1,000枚=11,540円(▲11,540円)
③(A)(B)(C)案内発送用ハル代	1,247	0	③ハル100シート1冊=1,247円(▲1,247円)
[小計]	22,840	0	
複写・印刷費			
①A・B・Cチラシ印刷代	64,888	50,000	①(A)チラシ印刷=@25×1,400枚+消費税(3,500円)=38,500円 (B)チラシ印刷=4,398円(1,000枚)×3回=13,194円(うち▲1,694円)
②A・B資料印刷代	69,000	0	(C)チラシ印刷=4,398円(1,000枚)×3回=13,194円(▲13,194円)
[小計]	13,3888	50,000	②(A)資料コピー代=@5×30枚×250部=37,500円(▲37,500円) ②(B)資料コピー代=@5×30枚×70部×3回=31,500円(▲31,500円)
郵送・広告・保険料			
①(A)(B)(C)通信費(案内発送)	46,200	0	①(A)郵便代 @84×100通=8,400円(▲8,400円) (B)郵便代 @84×100通×3回=25,200円(▲25,200円) (C)郵便代 @84×50通×3回=12,600円(▲12,600円)
[小計]	46,200	0	
使用料・賃借料			
①(A)会場費・備品費	45,870	0	①(A)会場費 36,170円(▲36,170円) 備品費 9,700円(▲9,700円)
②(B)会場費・備品費	39,060	0	②(B)会場費(3会場) 28,860円(▲28,860円) 備品費(3会場) 10,200円(▲10,200円)
[小計]	84,930	0	
交通費			
[小計]	0	0	
その他			
[小計]	0	0	
合計	1,207,358	500,000	

☆この事業収支予算書は、今回提案する事業に要する予算を記入するものです。団体の年間予算を書くものではありません。

[令和4年度提案型協働事業 様式]

☆日常の運営経費（団体等の日常運営の person 費、事務所賃借料、光熱水費、日常運営に要する消耗品・備品費等）は対象外です。

団 体 の 概 要

団 体 名	特定非営利活動法人語らいの家		
所 在 地	東京都世田谷区成城 4-3-23	電話番号	03-5429-8855
		FAX	03-5429-8856
代表者氏名	坪井 伸子	役職	代表理事
事業責任者 ※住所、電話番号・ FAX、Eメールは 公開しません。	氏 名	坪井 伸子	役職 代表理事
	住 所	[REDACTED]	
	電話番号	[REDACTED]	
	FAX	[REDACTED]	
	Eメール	[REDACTED]	
設立年月 (活動開始年月)	平成 11 年 3 月 (特定非営利活動法人設立：13 年 2 月)		
役員等の構成 及び社員数 (会員数)	役員 8 名 社員 (会員) 令和 3 年度会員数 118 名		
主な活動分野	《NPO事業》認知症家族相談会、認知症勉強会、MC I 勉強会、 認知症カフェ、傾聴講座、 高齢期を豊かに暮らすための回想法プログラム 《介護予防事業》筋力アッププログラム (世田谷区委託) 《介護保険事業》認知症対応型共同生活介護 (2 ユニット)、認知症対応型通所介護 (2 か所)、地域密着型通所介護 (2 か所) 訪問介護 (1 か所)、居宅介護 (2 か所)		
主な活動実績 *行政との協働 の実績を含む。	平成 11 年 3 月 ボランティア任意団体として「語らいの家」誕生 13 年 2 月 東京都より、特定非営利活動法人認可 14 年 認知症予防活動開始 通所介護「デイホーム語らいの家」開設 15 年 認知症の人とその家族を支える「家族相談会」開始 (継続中) 区民向け「認知症勉強会」開始 (継続中) 16 年 認知症対応型共同生活介護「グループホームかたらい」開設 1 人暮らしの高齢者が会食とおしゃべりを楽しむ「夕食会」開始 (継続中) 17 年 訪問介護「ヘルパーステーションかたらい」開設 18 年 高齢期を豊かに過ごすための「回想法」プログラム開始(継続中) 19 年～「認知症予防プログラム (パソコン・料理)」 「運動器機能向上プログラム」「回想法」の委託 東京都認知症支援拠点モデル事業開催 (サロン日ようび、あんしん 生活マップ、中学生のための認知症勉強会の開催) 20 年 居宅介護支援事務所「ケアステーションかたらい」開設 // 「団塊世代の社会参加のための地域ニード調査」実施 次ページに続く		

[令和4年度提案型協働事業 様式]

	<p>21年 第6回日本認知症ケア学会・読売認知症ケア大賞受賞 22年 認知症対応型通所介護「サロンデイ語らいの家」開設 // 訪問介護「ヘルパーステーションかたらい成城」開設 22年 居宅介護支援事務所「ケアステーションかたらい成城」開設 // 「認知症早期発見・認知症の人及びその家族を支えるための支援事業」 (21年度協働事業) 23年 東京都信用金庫協会「特別奨励賞」 「たとえ認知症になっても安心して暮らし続けることが出来る街をめざして」(22年度協働事業) 24年 「中学生職場体験」開始(継続中) 25年 「認知症の人の介護実態調査」実施 // 8月よりデイホーム上祖師谷を認知症対応型に変更 26年 認知症カフェ「カフェサロンかたらい」開始(継続中) 世田谷区提案型協働事業「認知症の人とその家族を支えるための環境充実プログラム」(26年度～28年度) 29年 地域密着型通所介護「アクティブかたらい」開設 30年 地域デイサービス「ひまわり」開設 令和2年 介護予防・日常生活支援総合事業「オレンジかたらい」開設</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>団体の ホームページ</p>	<p>https:// www.npo-katarai.jp</p>